



# 安全ニュース【2026年1月号】



(株)スタンダード運輸

(株)茨運 スズ工電機(株)

## 運転しても構わないか、必ず確認しましょう

薬を購入するときや、病院などで薬の処方を受けるときには、医師・薬剤師に、**自分が服用後に運転をする可能性があることを申告して、眠くなる危険等がないかを確認**しましょう。

平成25年5月29日、「医薬品服用中の自動車運転等の禁止等に関する患者への説明について」徹底するようにという厚生労働省の指導文書が出ていますので、こうした問題を意識している医療関係者も増えていっていると思われます。

**睡眠薬**などの場合、前夜に飲んだ場合でも、翌日の運転に影響を与えるという種類の薬品があります。**服用後何時間以上あけるかなど具体的に質問**してください。

また、たとえば頭痛解熱薬の場合、**パファリン**や**アスピリン**など「アセチルサリチル酸」だけが成分の薬は飲んで眠気が生じる恐れはありませんが、他の頭痛薬で「**アリルイソプロピルアセチル尿素**」成分が含まれている製品は眠気が生じる危険があります。



## 服薬をやめて発作を起こした運転者に実刑判決

鹿児島県始良市の国道で2011年10月、5人を死傷させる多重事故を起こし**自動車運転過失致死傷罪**に問われた元トラック運転者(38)に対する裁判で、鹿児島地裁は、**禁錮2年4月(求刑禁錮3年6月)の実刑**を言い渡しました。

裁判官は、被告に**てんかんの持病**があり、**車の運転を避けるべきだったのに運転を続けたこと、薬を飲まなくても発作は起こらないと考え通院治療や服薬をやめていたこと**などを指摘し、「一瞬の気の緩みや判断ミスで起きた事故とは全く異なり、悪質」と批判した上で、「安易な考えで運転をした。刑事責任を軽くみることはできない」と述べました。

被告は**医師から運転をしないよう厳しい指導を受けていたのに、これを無視してトラックを運転し**、発作で意識を失って車5台が絡む事故を起こし、鹿児島市の男性(73)を死亡させ、その他の男女4人に重軽傷を負わせました。

被告の責任

・通院治療をやめた  
・服薬をやめていた

・医師→運転をしないよう厳しく指導

・医師の指導を無視して安易に運転  
⇒事故

## 持病のある人は、薬を正しく服用しよう！

2015年、東京都豊島区のJ R池袋駅東口で医師が運転する乗用車が歩道に突っ込み、歩いていた5人が死傷した事故がありました。逮捕された医師は、当初「持病は特になし」と供述していましたが、その後の調べで「てんかん」の持病があり定期的に通院していたことがわかりました。

「てんかん」の発作をコントロールするには、朝夕と夕方に薬を服用する必要がありますが、事故を起こした医師は、事故当日の夕方に「てんかん」の薬を飲んでいなかったことがわかりました。

薬を1回飲み忘れただけで発作が出るとは考えにくいという専門家もありますが、事故の発生状況を見れば、何らかの異常があったことは確かです。

「てんかん」に限らず糖尿病など、**運転者のなかには薬を服用しないと運転に支障がある持病**を持っている方は大勢いらっしゃると思います。薬は決められたときに、決められた量を服用することはもちろんですが、**薬を飲み忘れたときには無理をして車を運転をしないように**してください。



## バックで道路外施設に入るときには歩行者に注意

2019年12月、鹿児島県長島町の住宅敷地内で、バックしてきたトラックにはねられて、その住宅に住む52歳の女性が亡くなりました。

人がいる可能性がある場所でのバックは非常に危険!! 後方が確認できないときは、減速してもらおう。

トラックを運転していた43歳の男性は、プロパンガスの定期交換のため女性の住宅を訪れていて、バックで敷地内に入ろうとした際、車の後ろにいたこの女性に気づけなかったということです。

住宅の敷地や駐車場などに入る場合は、**出るときのことを考えてバックで入ったり、道路をやってくる後続車の存在などが気になり、急いで入ろうしまいがち**です。

また、ハンドル操作をして車を旋回させながらバックすることも多いので、車体の後方が非常に確認しずらく、この事故のように人を見落とす危険性が高くなります。

道路外の駐車場や住宅敷地内などに入る場合は、**できるだけ前進で安全確認をしながらゆっくり入る**ように心がけてください。



## 風邪薬を飲んでの運転は危険です

風邪薬の中には、解熱剤や鼻炎に効く**抗ヒスタミン薬**が含まれているものが多く、**強い眠気を催す**ことがあるからです。

どうしても運転する場合は、医師や薬剤師に**眠気の出ない薬にしてもらうよう確認**することです。

つい先日、東京で大量に風邪薬を服用して、もうろうとなった運転者が、コンビニから歩道に車を暴走させて人身事故を起こし逮捕されました。

この運転者は、風邪の治療というより別の目的で大量に服薬した可能性があり、検察は自動車運転過失致死傷罪より罪の重い危険運転致死傷罪で起訴しています。

こんな人は特別でしょうが、**我々も無理をして風邪のとき運転すると、疲れと薬の副作用から居眠運転等に陥る危険性があります**ので、注意しましょう。



明けて

おめでとうございます。

今年もよろしくお祈いします。



# 今一度、原点回帰



一品 一心  
One Item, One Soul.